

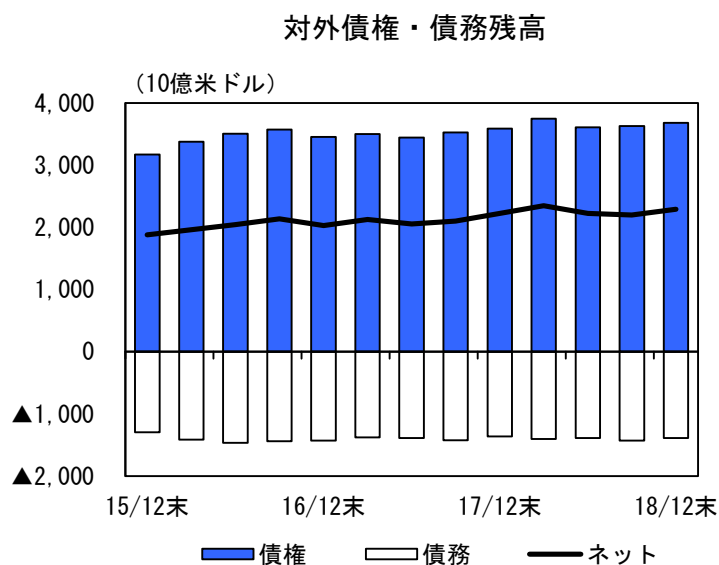
本件の対外公表は
2019年3月18日
8時50分

BIS 国際資金取引統計および国際与信統計の特徴点 (日本分集計結果：2018年12月末)

1. BIS 国際資金取引統計

(1) 残高

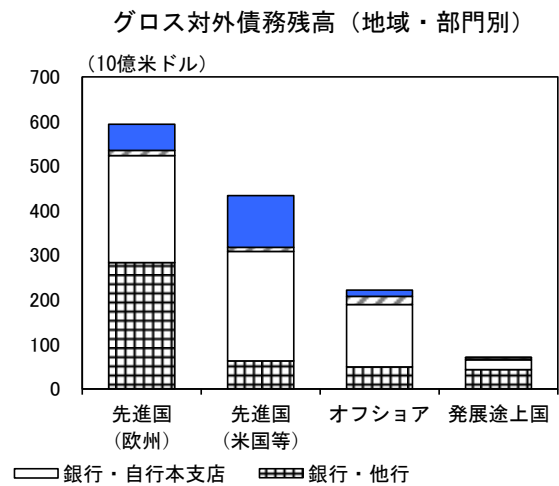
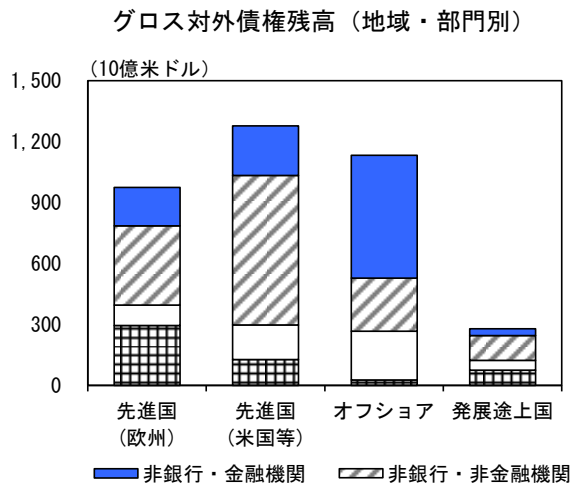
- 2018年12月末の本邦所在銀行のネット対外債権残高は、2兆2,911億ドルとなった。うち、グロス対外債権は3兆6,777億ドル、グロス対外債務は1兆3,866億ドルとなった。



(注) 債権はプラス表示、債務はマイナス表示。

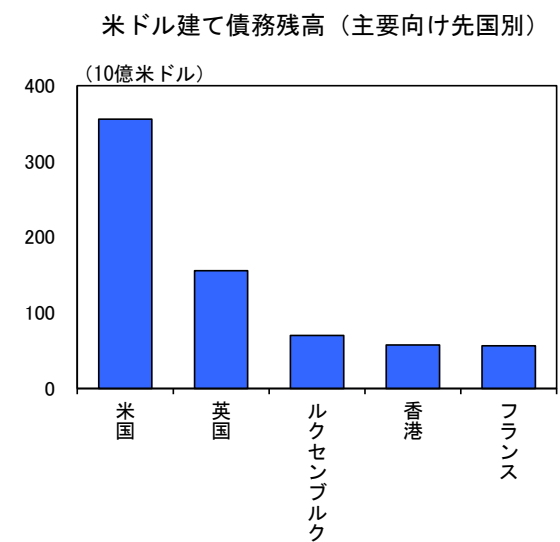
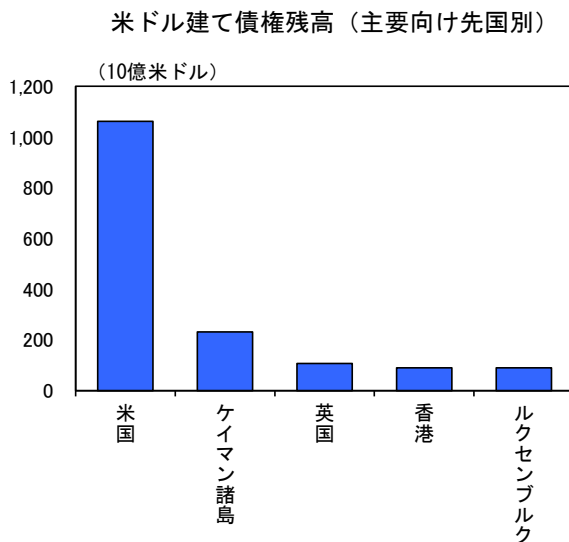
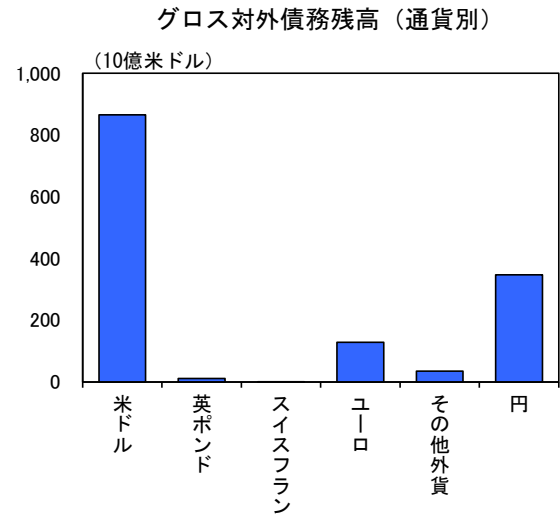
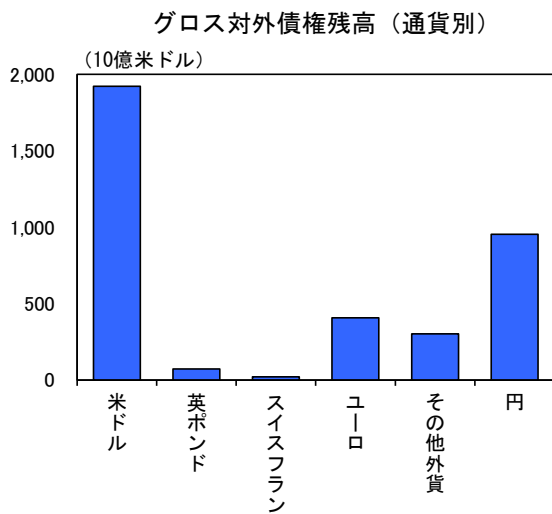
(地域・部門別)

- グロス対外債権を地域別にみると、先進国（米国等）向け、オフショア向け、先進国（欧州）向けが、それぞれ1兆2,769億ドル、1兆1,325億ドル、9,742億ドルであった。主な地域の内訳部門をみると、先進国（米国等）および先進国（欧州）では非銀行・非金融機関向け、オフショアでは非銀行・金融機関向けのウエイトが高くなっている。
- グロス対外債務では、先進国（欧州）向け、先進国（米国等）向け、オフショア向けが、それぞれ5,929億ドル、4,332億ドル、2,212億ドルであった。内訳部門をみると、全ての地域で銀行部門向けのウエイトが高くなっている。うち、先進国（米国等）およびオフショアでは、自行本支店向けのウエイトが高い。先進国（欧州）では、自行本支店、他行向けともにウエイトが高くなっている。



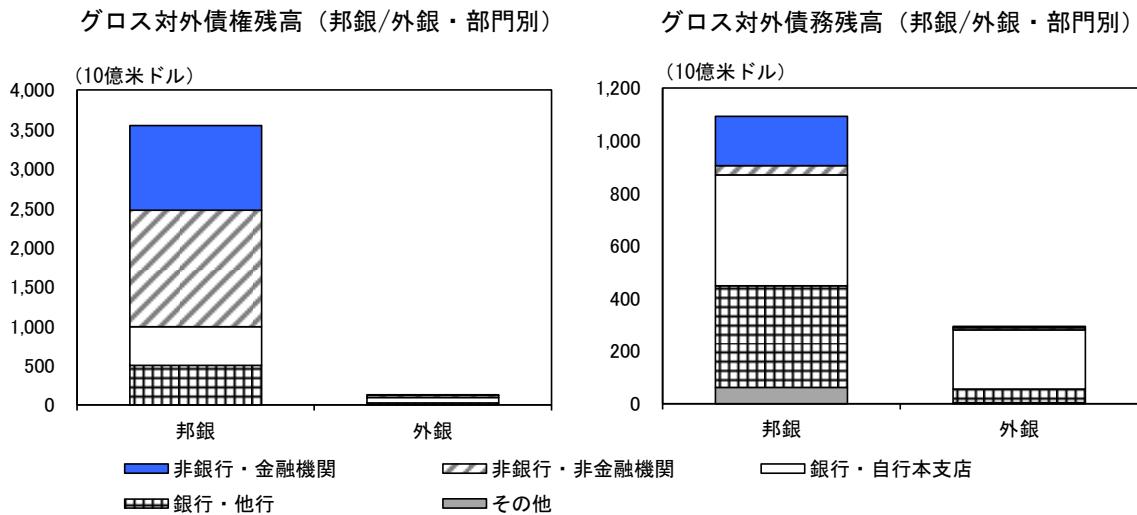
（通貨別）

- 通貨別では、米ドル建ての残高が最大となった（グロス対外債権残高：1兆9,229億ドル、グロス対外債務残高：8,653億ドル）。さらに、米ドル建て債権・債務残高の内訳を国別にみると、債権では米国、ケイマン諸島向け、債務では米国、英国向けの順となった。

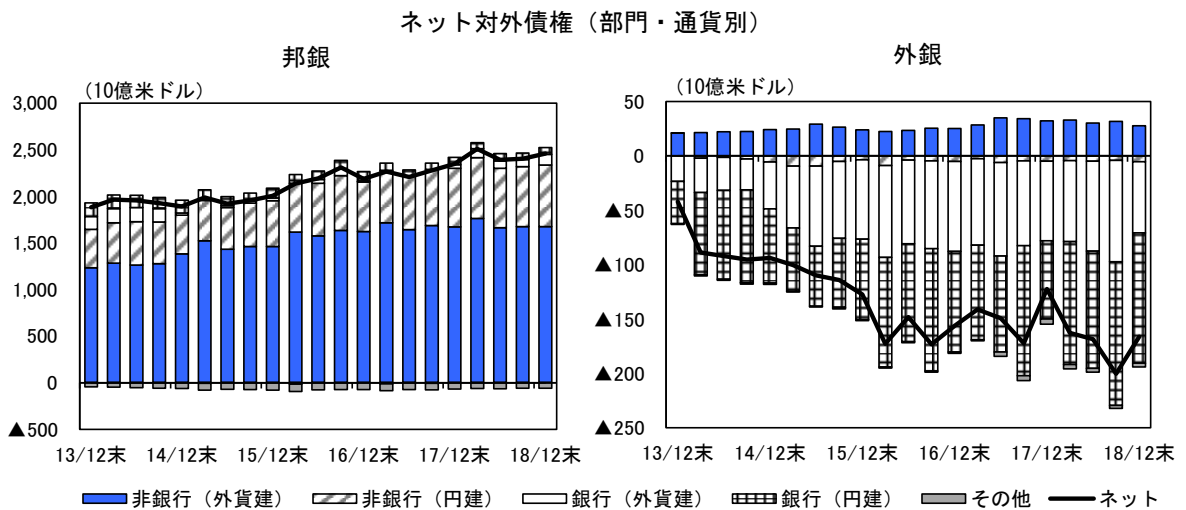


(邦銀／外銀別)

- ・ 邦銀／外銀別にみると、グロス対外債権残高は、邦銀が3兆5,501億ドル、外銀が1,276億ドルとなった。グロス対外債務残高は、邦銀が1兆926億ドル、外銀が2,940億ドルとなった。
- ・ うち邦銀については、対外債権は非銀行向け、対外債務は銀行向けのウエイトが高くなっている。外銀の対外債務は、銀行向けのウエイトが高くなっている。



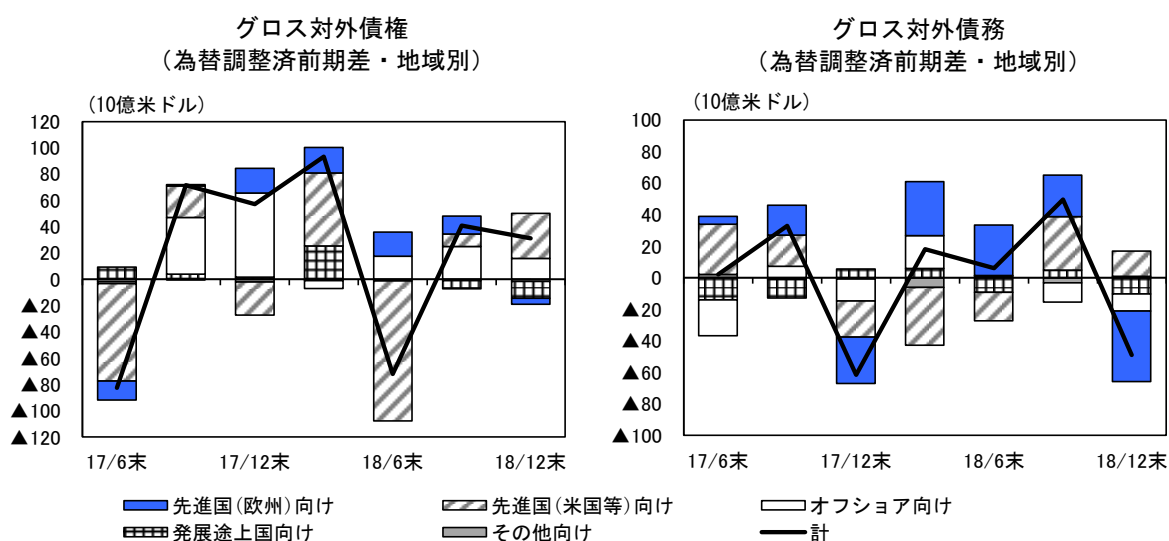
- ・ ネットベースでみると、邦銀の対外債権残高は2兆4,575億ドル、外銀の対外債務残高は1,664億ドルとなった。



(注) ネットベースで債権はプラス、債務はマイナス表示。

(2) 前期からの増減

- ・ グロス対外債権は、前期から増加した（為替調整済前期差¹+311億ドル）。先進国（米国等）向け（同+341億ドル）、オフショア向け（同+160億ドル）が増加した一方、発展途上国向け（同▲129億ドル）、先進国（欧州）向け（同▲45億ドル）が減少した。
- ・ グロス対外債務は、前期から減少した（同▲490億ドル）。先進国（欧州）向け（同▲447億ドル）、オフショア向け（同▲109億ドル）、発展途上国向け（同▲103億ドル）が減少した一方、先進国（米国等）向け（同+160億ドル）が増加した。



- ・ 主な向け先国別にみると、グロス対外債権では、米国向け（為替調整済前期差+385億ドル）が増加した。グロス対外債務では、英国向け（同▲292億ドル）、フランス向け（同▲173億ドル）が減少した。

グロス対外債権・債務の増減がみられた主な向け先国

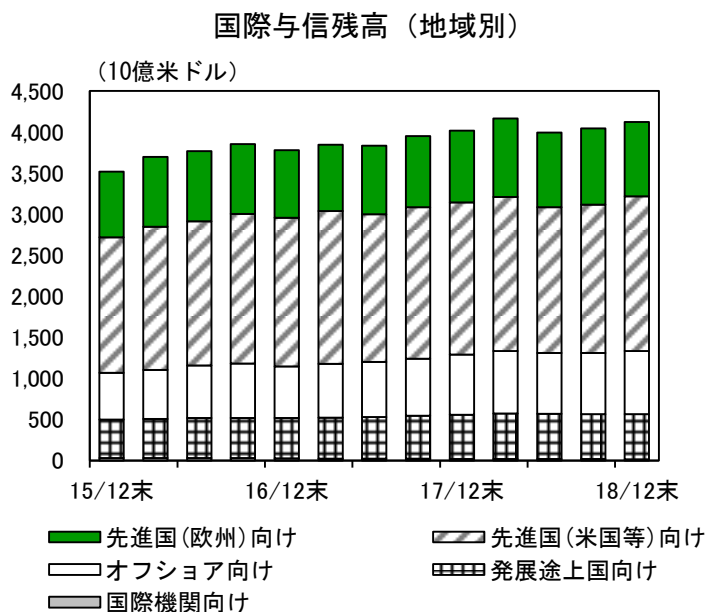
(為替調整済前期差、億米ドル)

	向け先国名	増加	向け先国名	減少
グ ロ ス 債 権	米国	+385	ドイツ	▲92
	ケイマン諸島	+114	中国	▲85
	シンガポール	+114	ルクセンブルク	▲72
	英国	+60	香港	▲66
	アイルランド	+45	オーストラリア	▲48
グ ロ ス 債 務	米国	+135	英国	▲292
	ドイツ	+103	フランス	▲173
	カナダ	+31	香港	▲78
	タイ	+6	中国	▲68
	ベトナム	+3	ルクセンブルク	▲63

¹ 為替調整済前期差は、原通貨建の残高の前期差を期中平均レートで米ドル建てに換算することにより、主要通貨（円、ユーロ、英ポンド、スイスフラン）の為替レートの期中変動を調整した参考計数。

2. BIS 国際与信統計

- 2018年12月末の邦銀の国際与信残高（最終リスクベース）は、4兆1,213億ドルとなった（前期差+786億ドル）。うち、先進国（米国等）向けが1兆8,825億ドル、先進国（欧州）向けが9,045億ドルであった。



- 主な向け先国別にみると、先進国向けでは米国向け（前期差+791億ドル）が増加した。オフショア・発展途上国向けでは、ケイマン諸島向け（同+184億ドル）が増加した。

先進国向け

(前期差、億米ドル)

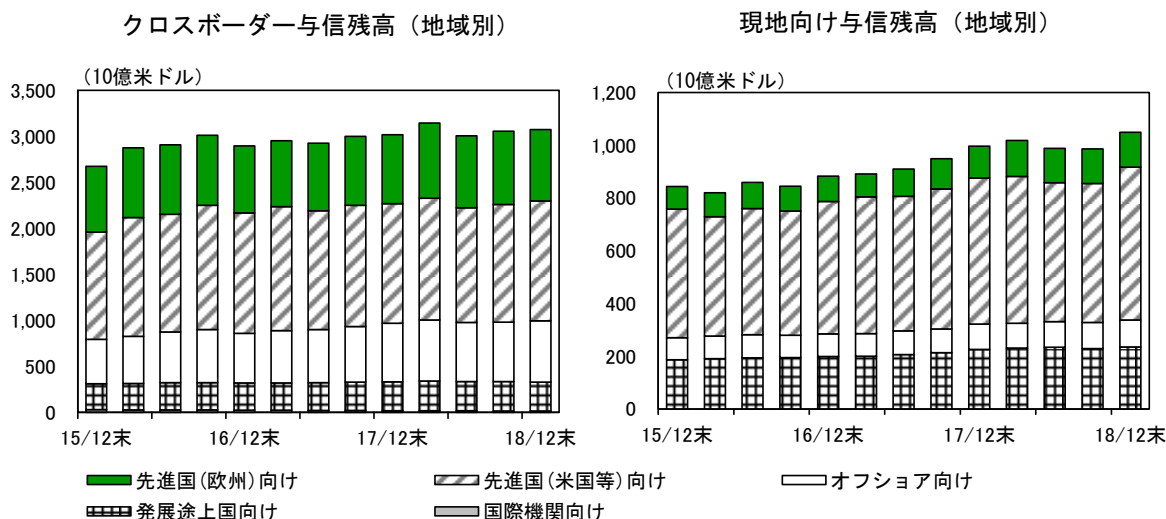
向け先国名	増加	向け先国名	減少
米国	+791	ドイツ	▲192
英国	+46	フランス	▲105
ルクセンブルク	+20	カナダ	▲31
スペイン	+20	ベルギー	▲28
フィンランド	+19	オランダ	▲20

オフショア・発展途上国向け

(前期差、億米ドル)

向け先国名	増加	向け先国名	減少
ケイマン諸島	+184	韓国	▲23
シンガポール	+27	台湾	▲13
インドネシア	+20	メキシコ	▲6
ジャージー	+17	バミューダ諸島	▲5
タイ	+15	ポーランド	▲5

- ・クロスボーダー／現地向け別にみると、クロスボーダー与信（前期差+161億ドル）、現地向け与信（同+625億ドル）ともに増加した。



- ・主な向け先国別にみると、クロスボーダー与信では、米国向け（前期差+273億ドル）、ケイマン諸島向け（同+183億ドル）、現地向け与信では、米国向け（同+518億ドル）が増加した。

クロスボーダー与信

（前期差、億米ドル）

向け先国名	増加	向け先国名	減少
米国	+273	ドイツ	▲145
ケイマン諸島	+183	フランス	▲66
フィンランド	+19	英国	▲44
ジャージー	+17	中国	▲26
スペイン	+16	オランダ	▲23

現地向け与信

（前期差、億米ドル）

向け先国名	増加	向け先国名	減少
米国	+518	ドイツ	▲47
英国	+90	フランス	▲40
オーストラリア	+37	カナダ	▲28
シンガポール	+34	ベルギー	▲17
中国	+31	韓国	▲8

以 上

照会先

日本銀行金融市場局総務課市場統計グループ

Tel : 03-3279-1111 (内線 2701)

電子メール : post.fmd@boj.or.jp

（参考 1）BIS 国際資金取引統計（日本集計分）

本統計は、BIS が四半期毎に公表するグローバル・ベース（47 各国・地域）の統計（Locational Banking Statistics）の日本分の集計結果。

- ・ 対象金融機関・・・ 日本に所在する銀行のうち、特別国際金融取引勘定（JOM 勘定）承認銀行等（外国銀行の在日拠点〈支店・現法〉を含み、邦銀の海外拠点〈支店・現法〉は含まない）。
- ・ 対象時点・・・・・・ 毎四半期末（3、6、9、12 月末）時点。
- ・ 対象計数・・・・・・ 対象金融機関のオンバランス債権債務残高のうち、非居住者向け（円建て・外貨建て）を対象としている。債権債務残高には、信託勘定や、自行海外本支店および海外現地法人との取引残高を含む。
- ・ 部門分類・・・・・・ 公表データは、取引相手先の部門に応じて、銀行（うち本支店）、および非銀行（うち非銀行金融機関）に区分されている。

（参考 2）BIS 国際与信統計（最終リスクベース：日本集計分）

本統計は、BIS が四半期毎に公表するグローバル・ベース（31 各国・地域）の統計（Consolidated Banking Statistics）の日本分の集計結果。

- ・ 対象金融機関・・・ 日本に本店を有する銀行のうち、特別国際金融取引勘定（JOM 勘定）承認銀行等。
- ・ 対象時点・・・・・・ 毎四半期末（3、6、9、12 月末）時点。
- ・ 対象計数・・・・・・ 対象金融機関（連結ベース）の国内本支店および海外拠点（支店・現法）のクロスボーダー与信残高、海外拠点（支店・現法）の現地向け与信残高を対象としている。ただし、信託勘定を含み、国内外の自行拠点向けの債権を含まない。
- ・ 与信の分類・・・・・・ 与信（非居住者向け債権）は、保証や担保を勘案した最終的なリスクが所在する地域・国別に区分され、例えば、英国現法向け与信に対して米国の親会社が保証を行っている場合、当該与信の最終リスクは米国に区分されている。

なお、現地向け与信には、海外支店・現法が実行する与信のうち、当該拠点が所在する国の債務者向け、かつ最終リスクも同国内向けであるものを計上している。

- ・ 部門分類・・・・・・ 公表データは、取引相手先の部門に応じて、公的機関、民間銀行、および民間その他（うち非銀行金融機関）に区分されている。